

# 三菱UFJ 米国リートファンド A<為替ヘッジあり> / B<為替ヘッジなし> (毎月決算型) 〈愛称: アメリカンストリート〉

追加型投信 / 海外 / 不動産投信



## ■三菱東京UFJ銀行からのご留意事項

◎当ファンドは預金ではなく、三菱東京UFJ銀行は元本を保証しておりません。また、預金保険制度の対象ではありません。◎投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、価格変動リスク等があり、お受取金額が投資元本を大きく下回ることがあります。したがって投資元本および運用成果が保証されているものではありません。◎ご購入に際しては、購入時手数料(2.7%(税込))および保有期間中の運用管理費用(信託報酬)等の費用がかかります。◎ご購入に際しては、必ず最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および「目論見書補完書面」により商品内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。◎当ファンドをお取引いただくか否かが、三菱東京UFJ銀行におけるお客さまのほかの取引に影響を与えることはありません。◎当ファンドの購入代金に充当するための借入れを前提とした購入申込みはお受けできません。

## 〔金融商品仲介口座を通じたご購入について〕

●当ファンドは三菱東京UFJ銀行の投資信託口座のほか金融商品仲介口座(三菱UFJモルガン・スタンレー証券の証券取引口座)を通じたお取扱いをしております。●金融商品仲介口座を通じたご購入に際しては、あらかじめ三菱UFJモルガン・スタンレー証券の証券取引口座の開設が必要です(金融商品仲介口座の開設をお申込みいただくと、お取引口座は三菱UFJモルガン・スタンレー証券に開設されます)。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。投資信託説明書(交付目論見書)は、三菱東京UFJ銀行の本・支店までご請求ください。

## 投資信託口座を通じたお取扱いの場合

お申込み/販売会社は



三菱東京UFJ銀行

株式会社三菱東京UFJ銀行  
登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号  
加入協会: 日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当行の苦情処理措置および紛争解決措置は  
一般社団法人全国銀行協会または特定非営利活動法人証券・  
金融商品あっせん相談センターを利用します。  
全国銀行協会相談室: 0570-017109 / 03-5252-3772  
証券・金融商品あっせん相談センター: 0120-64-5005  
受付時間: 月~金曜日/9:00~17:00(祝日・12/31~1/3等を除く)

## 金融商品仲介口座を通じたお取扱いの場合

お問合せ・ご照会は



三菱東京UFJ銀行

株式会社三菱東京UFJ銀行  
登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号  
加入協会: 日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

委託金融商品取引業者/販売会社は

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号  
加入協会: 日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

ともに、その先へ。

# ファンドの特色

## 1 米国のリート(不動産投資信託証券)を実質的な主要投資対象とします。

主として証券投資信託への投資を通じて、米国の不動産投資信託証券に実質的な投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンド(わが国の短期公社債等に投資)への投資も行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)

## 2 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つからお選びいただけます。

「為替ヘッジあり」は、原則として投資する投資信託証券において為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

「為替ヘッジなし」は、原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

## 3 投資対象とする証券投資信託は、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社が運用を行います。

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社は投資対象ファンドが投資するマザーファンドの運用の指図に関する権限を、米国のJ.P.モルガン・インベストメント・マネージメント・インクに委託します。

J.P.モルガン・アセット・マネジメント\*では、不動産関連の運用に関して、リートのみならず不動産関連株式から実物不動産(公共およびプライベートセクター)まで、幅広く手掛けております。

\*J.P.モルガン・アセット・マネジメントは、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーおよび世界の関連会社の資産運用ビジネスのブランドです。

## 4 毎月分配を行います。

毎月22日(休業日の場合は翌営業日)の決算時に収益分配を行います。

原則として、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ファンドのリスクについては、「投資リスク」をご参照ください。

## J.P.モルガン・アセット・マネジメントのご紹介

J.P.モルガン・アセット・マネジメントは、世界最大級の金融持株会社であるJPモルガン・チェース・アンド・カンパニー傘下の資産運用部門です。

約140年にわたる歴史を持ち、高い運用実績を誇る数多くの運用戦略を世界の投資家の皆さまにご提供しています。

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社は、J.P.モルガン・アセット・マネジメントの日本拠点です。

世界30カ国以上に展開

運用資産は約205兆円を誇り世界最大級

約1,210名の運用プロフェッショナル

### JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーについて

●JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーは、ニューヨークに本社を置き、世界60カ国以上に営業拠点を持つ米国最大級の銀行を中心とする金融サービス会社です。

●米国を代表するダウ・ジョーンズ工業株価平均の構成銘柄として採用されており、総資産、収益力、時価総額などにおいても世界屈指の金融機関として高い評価を得ています。



2017年3月末現在。(運用資産は2017年3月末の為替相場により円換算。)

(出所)JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社の資料を基に三菱UFJ国際投信作成

## リートとは?

リートとは不動産投資信託証券のことで、不動産投資法人の投資証券または不動産投資信託の受益証券をいいます。多数の投資家から資金を集めて不動産を所有、管理、運営し、そこから生じる賃貸料収入や売却益を投資家に分配する商品です。分配金の原資は主に多数の物件からの賃貸料収入などです。

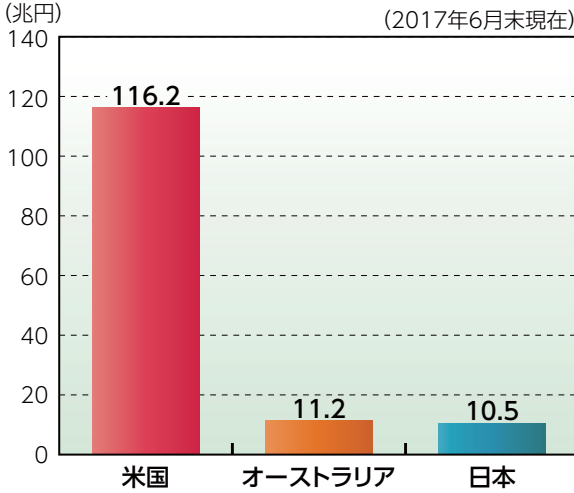
### ●リートのしくみ



## 魅力1 市場規模と多様性

- 米国リート市場は、世界で最も大きな市場であり、高い流動性を誇っています。
- また米国リートには多様なセクターが存在しており、リスク分散効果が期待されます。

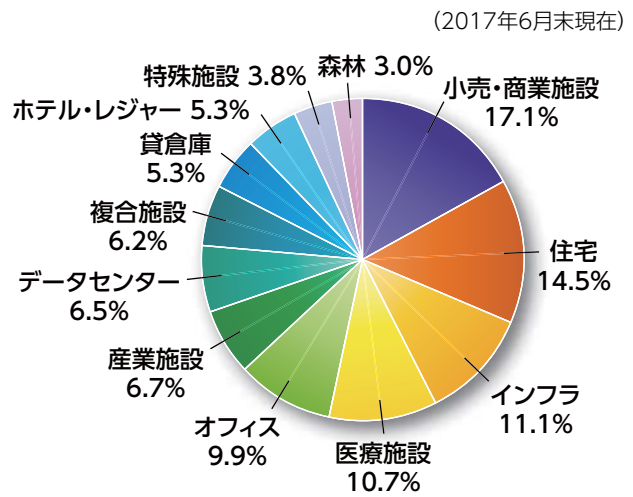
主要国リートの市場規模



・1米ドル=112.39円、1豪ドル=86.42円で換算

(出所) NAREIT、ASX、東京証券取引所、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

米国リートのセクター別比率

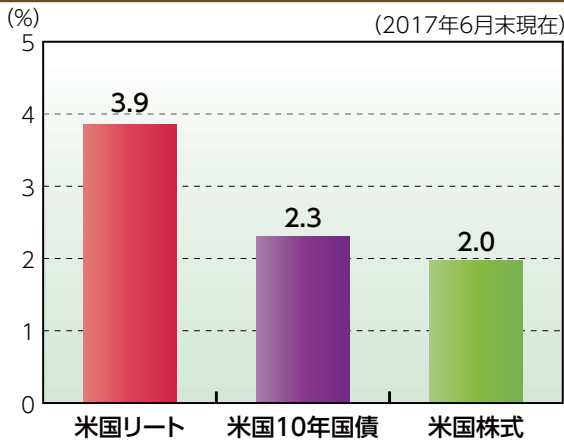


(出所) NAREITのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

## 魅力2 相対的に高い利回り

- 米国リートの配当利回りは、米国株式や米国国債と比べ、相対的に高い水準にあります。

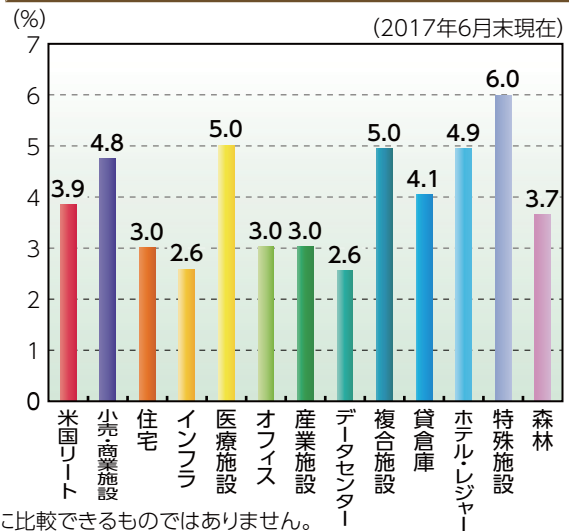
各資産の利回り水準



・上記各資産は為替やその他の特性を考慮しておらず、利回りだけで単純に比較できるものではありません。

(出所) トムソン・ロイター、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

(ご参考) 米国リートのセクター別利回り水準



(出所) NAREITのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

株式・リートの配当利回りは、公社債の最終利回りとは異なります。配当が支払われると、その金額相当分株価は下落します。配当利回りは、右記の式で算出されます。したがって配当金額や株価の変動により、配当利回りは上昇または低下します。

$$\text{配当利回り (単位: \%)} = \frac{\text{1株当たり年間配当金}}{\text{株価}} \times 100$$

- ・四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・上記は指数を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については、P6をご覧ください。
- ・米国リート、米国株式の利回りは配当利回り、米国10年国債の利回りは最終利回りを使用しています。
- ・上記は、過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。



### 魅力3 値上がり益の期待

■米国リートは、景気回復局面において米国株式を上回るパフォーマンスを示しました。一方で、景気後退局面では株式以上に下落する場面もありました。

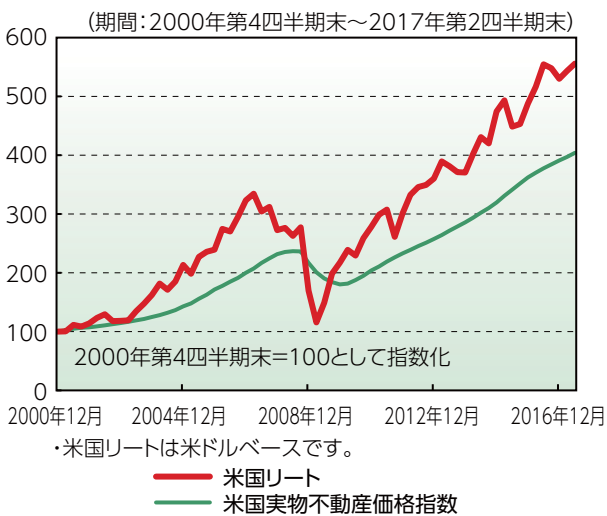
#### 米国リート、米国株式と実質GDP成長率



(出所) Bloomberg, IMF World Economic Outlook Database April 2017のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■米国リートは実物不動産価格に先行して推移する傾向があります。不動産需要の高まりが見込まれる局面では、米国リートが先行して上昇することも期待されます。

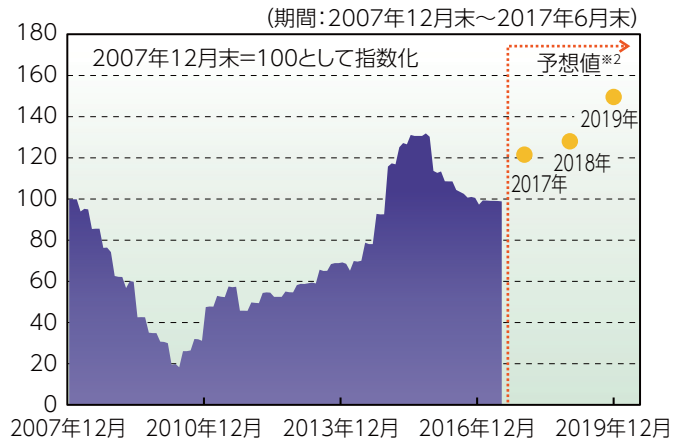
#### 米国リートと実物不動産価格



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■米国リーートの収益は、金融危機以降大幅に回復しました。足元では横ばいに推移しましたが、景気拡大が続く間は、増益が予想されます。

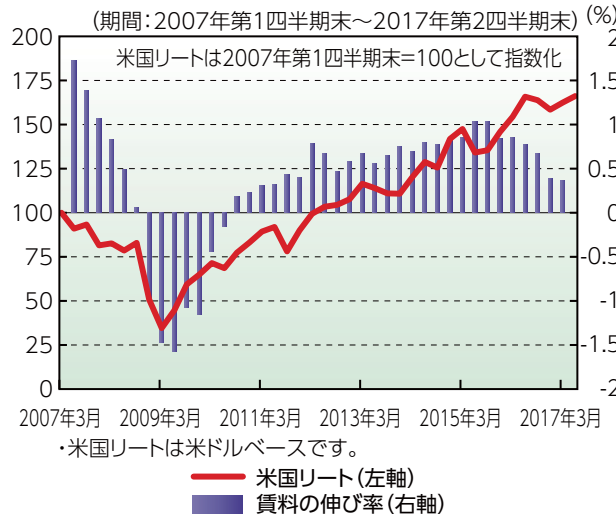
#### 米国リーートのEPS<sup>※1</sup>の推移



・米国リートは米ドルベースです。  
 ※1 EPSとは、1口当たりの当期利益(当期純利益)を表しています。  
 $EPS = \text{当期利益(当期純利益)} \div \text{発行済口数}$   
 米国リーートのEPSは、各月末における過去12か月間の合計値です。  
 ※2 2017年から2019年(暦年ベース)のEPSは、2017年6月末時点のBloombergの予想値を使用しています。  
 (出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■リーマンショックの影響で米国リート、賃料ともに下落しましたが、その後、賃料の回復傾向を受けて米国リートも上昇基調となっています。

#### 米国リートと賃料の伸び率<sup>※3</sup>



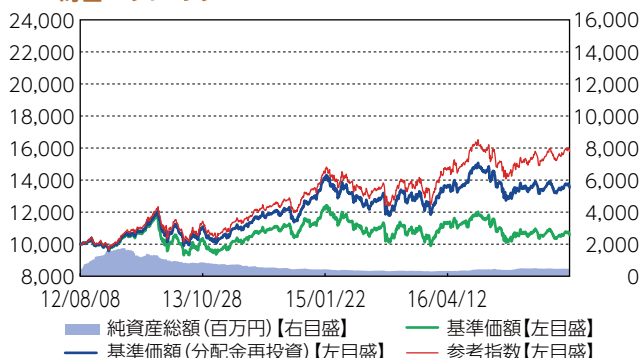
※3 賃料の伸び率は、前期比の伸び率(住宅・オフィス・小売各セクターの平均)、2017年第1四半期末まで

(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

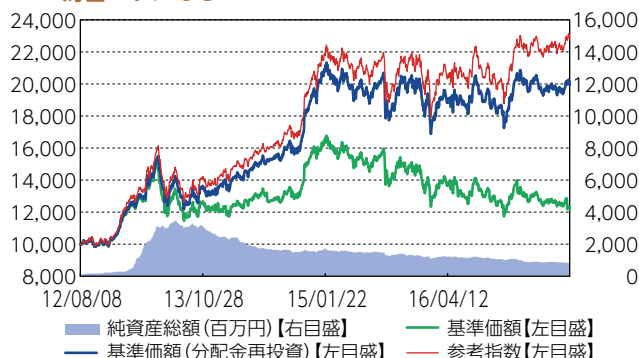
・上記は指数を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については、P6をご覧ください。  
 ・上記は、過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

## ●基準価額の推移(期間:2012年8月8日~2017年6月30日)

A<為替ヘッジあり>



B<為替ヘッジなし>



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日、参考指数は設定日翌営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。
- ・上記参考指数は、A<為替ヘッジあり>:FTSE NAREIT All Equity REITs(円ヘッジベース、配当込み)、B<為替ヘッジなし>:FTSE NAREIT All Equity REITs(円換算ベース、配当込み)です。FTSE NAREIT All Equity REITs(米ドルベース、配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。当該指数はファンドのベンチマークではありません。指数については、P6をご覧ください。

## ●分配金実績(1万口当たり、税引前)

A<為替ヘッジあり>

設定来累計					
2,740円					
17/06/22	17/05/22	17/04/24	17/03/22	17/02/22	17/01/23
20円	20円	20円	20円	20円	20円
16/12/22	16/11/22	16/10/24	16/09/23	16/08/22	16/07/22
20円	20円	20円	20円	20円	20円

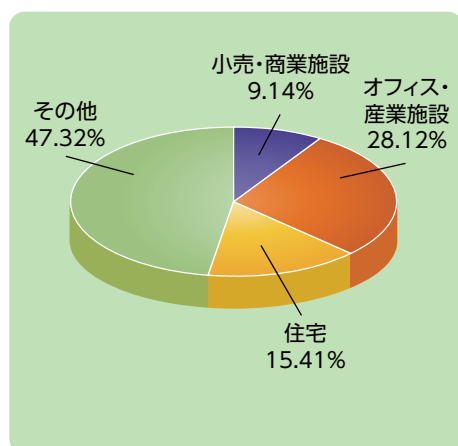
B<為替ヘッジなし>

設定来累計					
6,700円					
17/06/22	17/05/22	17/04/24	17/03/22	17/02/22	17/01/23
550円	50円	50円	50円	50円	50円
16/12/22	16/11/22	16/10/24	16/09/23	16/08/22	16/07/22
550円	50円	50円	50円	50円	50円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

各ファンドの主要投資対象である「GIM・USリート・ファンドF(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」の運用状況

## ●用途別構成比率(2017年06月30日現在)



## ●【参考】組入上位10銘柄および実績配当利回り(2017年5月31日現在)(組入銘柄数:40銘柄)

	銘柄名	用途	ファンド組入比率	配当利回り
1	CROWN CASTLE INTERNATIONAL CORP-REIT	その他	7.61%	3.67%
2	WEYERHAEUSER CO-REIT	その他	5.64%	3.74%
3	DIGITAL REALTY TRUST INC-REIT	オフィス・産業施設	5.62%	3.15%
4	AVALONBAY COMMUNITIES INC-REIT	住宅	5.39%	2.97%
5	HCP INC-REIT	その他	5.11%	4.74%
6	PROLOGIS INC-REIT	オフィス・産業施設	4.96%	3.15%
7	AMERICAN TOWER CORP-REIT	その他	4.58%	1.88%
8	SIMON PROPERTY GROUP INC-REIT	小売・商業施設	4.16%	4.29%
9	CAMDEN PROPERTY TRUST-REIT	住宅	3.75%	3.61%
10	PUBLIC STORAGE-REIT	その他	3.71%	3.73%
ファンドの配当利回り				3.95%

(出所) JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

- ・比率はリート評価額に対する割合です。
- ・用途はJPモルガン・アセット・マネジメント株式会社の分類に基づいて表示しています。
- ・「その他」には、ホテル、ヘルスケア、混合型、データセンター、通信設備等が含まれます。
- ・配当利回りは、リートの実績ベースの配当利回りです。
- ・ファンドの配当利回りは、組入銘柄の配当利回りを加重平均したものです。よって当ファンドの将来の分配をお約束するものではありません。

- ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
- ・四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・上記は、過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

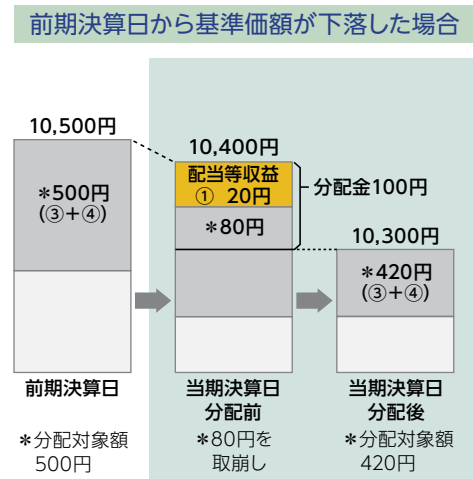
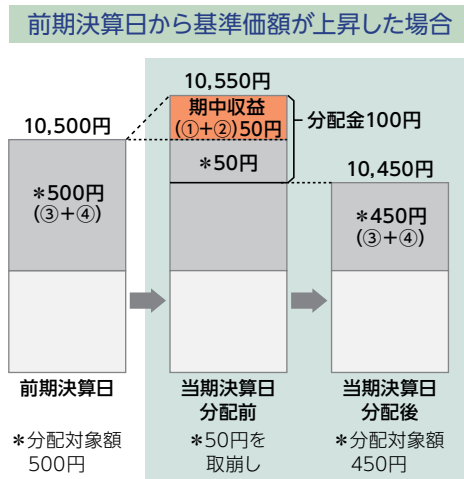
### 投資信託から分配金が支払われるイメージ



- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



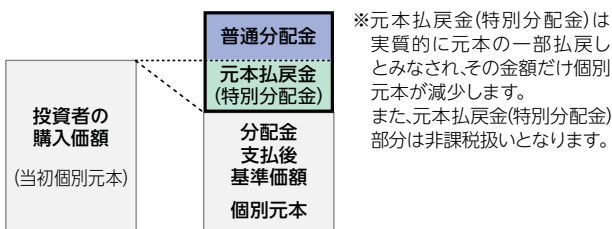
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金：当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

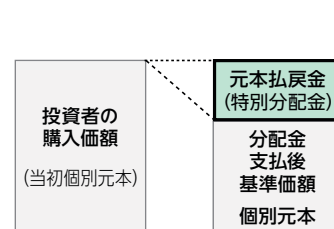


普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



## 購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

### [金額を指定して購入する場合]

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

### [口数を指定して購入する場合]

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくこととなります。

# 投資リスク

## ■ 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

## 価格変動リスク

一般に、不動産投資信託証券の価格は保有不動産等の価値やそこから得られる収益の増減等により変動するため、ファンドはその影響を受け組入不動産投資信託証券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

## 為替変動リスク

### ■三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)

組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨建の金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

### ■三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

## 信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

## 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。また、不動産投資信託証券は、株式と比べ市場規模が小さく、一般的に取引量も少ないため、流動性リスクも高い傾向にあります。

## ■ その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資判断によっては特定の銘柄に集中投資することがあります。そのため、当該銘柄の影響を大きく受ける場合があります。

## ■ リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。また、定期的に関催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。

【本資料で使用している指数について】

### ■米国リート【FTSE NAREIT ALL Equity REITs Index(配当込み)】

FTSE NAREIT All Equity REITs Indexとは、米国リーートの値動きを表す指数です。FTSE®は、London Stock Exchange Groupの会社が所有する商標であり、ライセンス契約に基づき、FTSE International Limited (以下「FTSE」) が使用します。NAREIT®はNational Association of Real Estate Investment Trusts (以下「NAREIT」) が所有する商標です。当該指数は、FTSEが算出を行います。FTSEとNAREITのいずれも本商品のスポンサー、保証、販売促進を行っておらず、さらにはいかなる形においても本商品に関わっておらず、一切の責務を負うものではありません。インデックスの価格および構成リストにおける全ての知的所有権はFTSEとNAREITに帰属します。

### ■米国株式【S&P500株価指数・S&P500株価指数(配当込み)】

S&P500株価指数とは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している株価指数で、米国の代表的な株価指数の1つです。市場規模、流動性、業種等を勘案して選ばれたニューヨーク証券取引所等に上場および登録されている500銘柄を時価総額で加重平均し指数化したものです。



**お申込みメモ**

**購入単位**  
 分配金再投資コース(累積投資コース):1万円以上1円単位  
 購入単位には購入時手数料(税込)が含まれます。  
 再投資される分配金については、1口単位とします。  
 投資信託口座を通じたお申込みの場合は上記以外の購入単位でのお取扱ひもごさい。くわしくは、三菱東京UFJ銀行のホームページをご覧ください。

**購入価額**  
 購入申込受付日の翌営業日の基準価額  
 ※基準価額は1万円あたりで表示されます。

**換金単位**  
 投資信託口座:1円以上1円単位、または1口以上1口単位、または全部。  
 金融商品仲介口座:1口以上1口単位、または全部。

**換金価額**  
 換金申込受付日の翌営業日の基準価額

**換金代金**  
 原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目にお支払いします。

**申込不可日**  
 次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。  
 ・ニューヨーク証券取引所の休業日およびその前営業日

**申込締切時間**  
 原則として、午後3時までに受付けたものを当日の申込分とします。

**換金制限**  
 ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。

**購入・換金申込受付の中止および取消し**  
 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。

**信託期間**  
 2022年6月22日まで(2012年8月8日設定)

**繰上償還**  
 各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合、または各ファンドの受益権の口数を合計した口数が30億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となる場合があります。なお、投資対象とする証券投資信託(マネー・マーケット・マザーファンドは除きます。)が償還する場合には繰上償還となります。

**決算日**  
 毎月22日(休業日の場合は翌営業日)

**収益分配**  
 毎月の決算時に分配を行います。  
 ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。  
 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少および基準価額の下落要因となります。  
 収益分配金は税金を差引いた後、原則として再投資されます。  
 ※分配金を再投資せず、お客様の指定口座にご入金するお取扱ひを希望される場合は、分配金出金(定期引出契約)をお申込みください。

**課税関係**  
 課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

**スイッチング**  
 各ファンド間でのスイッチングが可能です。手数料等は、「ファンドの費用」をご参照ください。また、換金時の譲渡益に対して課税されます。

**本資料に関してご留意いただきたい事項**

- 本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した販売用資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。 ●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。 ●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。 ●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。 ●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

**ファンドの費用**

◎お客さまが直接的に負担する費用

<b>購入時</b>	<b>購入時手数料</b>	購入金額(購入価額×購入口数)×2.7%(税抜 2.5%) で得た額 ■スイッチングの場合 ありません。 ※インターネット取引でご購入の場合は、上記手数料率から10%優遇。
	<b>換金時</b>	<b>信託財産留保額</b> ありません。

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

<b>保有期間中</b>	<b>運用管理費用(信託報酬)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■当該ファンド 日々の純資産総額に対して、<b>年率1.0584%(税抜年率0.98%)</b>をかけた額</li> <li>■投資対象とする投資信託証券 投資対象ファンドの純資産総額に対して<b>年率0.594%(税抜年率0.55%)</b> (マネー・マーケット・マザーファンドは除きます。)</li> <li>■実質的な負担 当該ファンドの純資産総額に対して<b>年率1.6524%程度(税抜年率1.53%程度)</b></li> </ul> ※投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。 上場投資信託(リート)は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示していません。
	<b>その他の費用・手数料</b>	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・監査法人に支払われるファンドの監査費用</li> <li>・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料</li> <li>・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用</li> <li>・その他信託事務の処理にかかる諸費用等</li> </ul> ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

委託会社(ファンドの運用の指図等)

**三菱UFJ国際投信株式会社**

**お客さま専用フリーダイヤル 0120-151034**  
 (受付時間/営業日の9:00~17:00)

●ホームページアドレス <http://www.am.mufg.jp/>

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

**三菱UFJ信託銀行株式会社**

販売会社(購入・換金の取扱い等)

[投資信託口座を通じたお取扱ひの場合]

**株式会社三菱東京UFJ銀行**

[金融商品仲介口座を通じたお取扱ひの場合]

**三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社**

(金融商品仲介業務等を行う登録金融機関:株式会社三菱東京UFJ銀行  
 他の販売会社は、上記の委託会社の照会先でご確認いただけます。)